

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



新年明けましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。

家畜伝染病の発生もなく、暖かく、平穏なお正月を迎えられたことは、日頃からの畜産関係者の皆様の家畜衛生に帯する努力の賜と感謝申し上げます。しかし、全国各地の野鳥の糞便から鳥インフルエンザウイルスが分離されており、どこで発生してもおかしくない状況が続いております。

よって本年も、一層の緊張感を持ち、本病や口蹄疫をはじめとする家畜伝染病の発生予防とまん延防止に努めるとともに、安心安全な畜産物の供給のための支援をまいりますので本年も御協力よろしくお願い申し上げます。



冬期の消毒について

今年は暖冬といわれていますが、いよいよ冬本番となってきました。

せっかく踏込消毒槽を設置していても、さあ、畜舎に入ろうとしたところ、消毒槽がガチガチに凍っていたΣ(°д°Ⅲ)—————という経験はありませんか？

凍結防止にウインドウオッシャー液原液（W液）を添加する方法を北海道が報告しています。なお、消石灰の屋外散布は冬期でも有効ですので、工夫しながら消毒の継続徹底をお願いします。



消毒薬の凍結防止には・・・

(資料提供：北海道十勝家畜保健衛生所)

消毒液	溶媒	凍結の有無 (-20℃)	pH
ビルコンS (500倍希釈)	水+W液(原液)=1:1	半凍結	2.0(酸性)
	W液(原液)のみ	無	2.3(酸性)
クエン酸 (0.2%)	水+W液(原液)=1:1	半凍結	2.4(酸性)
	W液(原液)のみ	無	2.6(酸性)
炭酸ソーダ (4%)	水+W液(原液)=1:1	凍結	10.6(アルカリ性)
	W液(原液)のみ	半凍結	10.5(アルカリ性)

注意：①消毒効果を示したものではありません。

②ウインドウオッシャー液の原液は引火性があるため、水と同量に混入します。

③消毒薬はウインドウオッシャー液に溶けにくいいため、あらかじめ、水に溶かします。

④酸とアルカリを混合すると効果は低下します。

高病原性鳥インフルエンザ防疫対策に係る初動防疫研修会を開催しました

平成27年12月10・11日、高病原性鳥インフルエンザ防疫対策に係る初動防疫研修会が開催されました。宮崎県庁から講師を招き、10日は県・市町村担当者を対象に宮崎県における平成26年度の発生事例及び発生時の初動防疫対応についての基調講演、11日は家畜保健衛生所職員を対象に各家保で実施した防疫演習の検証をおこないました。宮崎県では18回の本病や平成22年の口蹄疫の発生を経験しており、講師からは有効な初動防疫対策の助言をいただきました。

家畜防疫には、発生させないことが第一ですが、万一発生した場合は、迅速かつ的確な防疫対応が重要です。

発生に備えた準備に加え、関係者一体となった防疫対応及びまん延防止対策への御理解・御協力をお願いします。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
高病原性 鳥インフルエンザ	韓国	11月13日～11月15日	あひる	H5N8
		9月14日	がちょう	H5N8
		11月16日～11月24日	地鶏	H5N2
	台湾	12月7日	地鶏・鶏	H5N2
		12月7日	地鶏	H5N8
		12月14・15日	がちょう・地鶏・七面鳥	H5N2
		12月21日	地鶏	H5N2
		12月21日	がちょう	H5N8
		12月24日	鶏	H5N8

1月4日現在

毎月20日は家畜防疫の日

毎月20日は飼養衛生管理基準の自己チェックおよび農場消毒を行う日です。口蹄疫や鳥インフルエンザ、PED等の家畜伝染性疾病の侵入を防ぎ発生を予防するためには、地域全体の衛生水準を上げる事が重要です。

農場を守るため、**20日の飼養衛生管理の自己チェックと消毒を習慣化**させましょう！

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくはQRコードより、
登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

